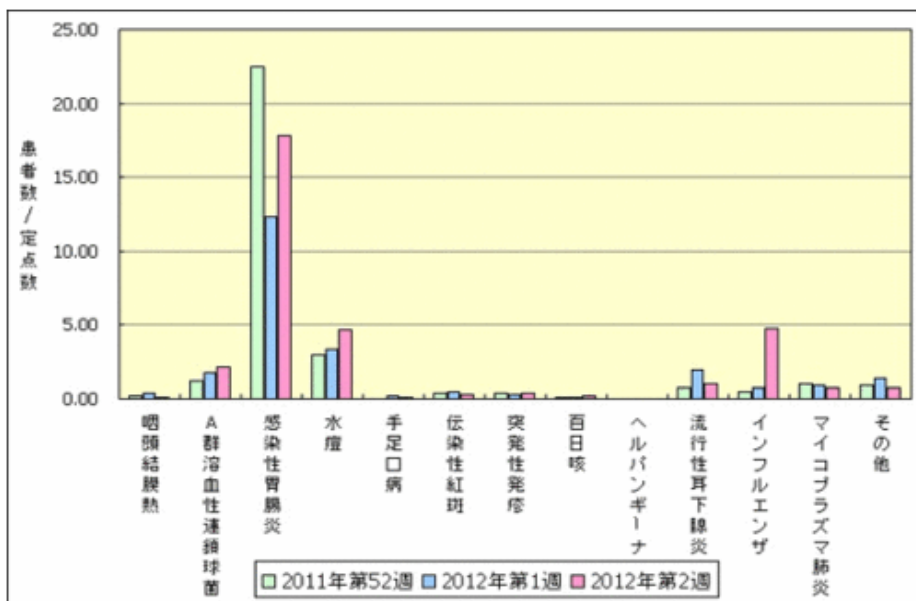


小児感染症の第2週(平成24年1月9日から平成24年1月15日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

- インフルエンザの報告が定点あたり4.7と急増しました。(A型57名、B型8名、臨床診断1名)  
市内の小中学校から学級閉鎖の報告も相次いでいます。
- 感染性胃腸炎は再び増加し、定点あたり17.8です。
- 水痘が中央北部で警報レベル(定点あたり7.0)を超え、定点あたり9.0と高値です。



第2週疾患毎発生状況グラフ

	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年				
	第49週	第50週	第51週	第52週	第1週	第2週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
咽頭結膜熱	5	9↑	7↓	2↓	5↑	1↓	0	1	0	0
A群溶血性連鎖球菌	50↑	57↑	52↓	15↓	25↑	30↑	11	11	8	0
感染性胃腸炎	186↑	350↑	427↑	270↓	173↓	249↑	87	70	56	36
水痘	34↑	37↑	68↑	36↓	47↑	65↑	36	4	14	11
手足口病	2↓	1↓	0↓	0	3↑	1↓	0	0	0	1
伝染性紅斑	10↑	15↑	12↓	4↓	7↑	4↓	2	1	1	0
突発性発疹	11↓	14↑	9↓	5↓	4↓	5↑	0	1	2	2
百日咳	0↓	0	4↑	1↓	1	2↑	1	1	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	11↓	17↑	21↑	9↓	27↑	14↓	3	5	5	1
インフルエンザ	1↑	7↑	5↓	6↑	10↑	66↑	26	9	25	6
マイコプラズマ肺炎	18↓	12↓	22↑	12↓	13↑	11↓	5	0	4	2
その他	13↑	15↑	15	11↓	19↑	11↓	4	3	4	0

第2週疾患毎発生状況表

第2週	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	0	3
～11ヶ月	0	0	19	3	0	0	3	0	0	0	0	0	1
1歳	0	2	38	6	1	0	1	0	0	0	3	1	4
2歳	0	1	28	19	0	0	1	0	0	0	5	0	0
3歳	1	2	29	9	0	0	0	0	0	0	2	1	0
4歳	0	5	30	6	0	2	0	0	0	3	14	0	1
5歳	0	6	26	11	0	1	0	0	0	5	10	0	0
6歳	0	1	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7歳	0	8	16	1	0	1	0	0	0	1	3	1	0
8歳	0	2	11	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1
9歳	0	1	4	0	0	0	0	0	0	3	3	1	0
10～14歳	0	2	19	1	0	0	0	0	0	0	15	5	0
10～12歳											12		
13～14歳											3		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
20歳以上	0	0	22	1	0	0	0	1	0	0	5	0	1
合計	1	30	249	65	1	4	5	2	0	14	66	11	11

第2週年齢別発生状況表

#### 地区ブロックの分け方

- 中央・北部  
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部  
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部  
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野  
由井事務所